



【令和5年度】

石岡市総合計画 第1期基本計画に基づく

リーディングプロジェクト

— 共生・共育・共働によるまちづくり —



- 目指すべき将来の姿、市の方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
- リーディングプロジェクトについて、SDGsの取組・・・ P2
- 輝く「魅力向上」プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・ P3
- 輝く「まち」プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5
- 輝く「ひと」プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
- 輝く「暮らし」プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
- チャレンジする市役所プロジェクト・・・・・・・・・・・・ P11





石岡市の目指すべき将来の姿について

本市では、「石岡市総合計画（基本構想・基本計画）」（計画期間：R4～R13）に基づき、まちづくりを進めています。

10年間のまちづくりを進める中で、誰一人取り残さない持続可能なよりよい社会の実現への取組を様々な主体が共有し、結婚、出産、子育て、教育、社会経済活動、生きがい等、生涯にわたり誰もがあらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができる石岡市に向けて、以下のように、**目指すべき将来の姿（将来像）**と、将来像の達成に向けて大切に**する基本理念**を掲げています。

目指すべき将来の姿(将来像)

『誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市』

将来像達成に向けて大切に**する基本理念**

「安全・安心」 「魅力・発信」 「対話・学び」



石岡市の方針について

目指すべき将来の姿の達成に向けて、石岡市総合計画基本計画では、市の方針を以下のように定めています。

共生

－共に生きる－

- ◇安全・安心に暮らせる社会
- ◇都市基盤の整備
- ◇環境の整備保全
- ◇一人ひとりが活躍し、認め合う地域社会

共育

－共に育つ－

- ◇子育て世代に魅力的なまちづくり
- ◇市民一人ひとりの学びを支援
- ◇保健、医療、福祉が充実した社会
- ◇社会情勢の変化にも迅速かつ柔軟に対応できる社会

共働

－共に働く－

- ◇誰もがいきいきと働き続けることができるまち
- ◇積極的な魅力の発信
- ◇愛着や誇りの醸成
- ◇連携、協働によるまちづくり



リーディングプロジェクトについて

総合計画をより実効性の高いものとするために、以下のとおり各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけ、迅速かつ効果的に取り組みます。

また、ウィズコロナの時代を踏まえ、今後の社会情勢を考慮しながら適切な感染防止対策を行い、各プロジェクトを展開します。

プロジェクト名称	該当する政策目標	ページ
輝く「魅力向上」プロジェクト	情報発信／歴史・観光	P3・P4
輝く「まち」プロジェクト	安全・安心／都市基盤・環境	P5・P6
輝く「ひと」プロジェクト	健康・福祉／子育て・教育・学び	P7・P8
輝く「暮らし」プロジェクト	産業・経済／地域・文化	P9・P10
「チャレンジする市役所」プロジェクト	チャレンジする市役所	P11・P12

※すべての分野を下支えするものとして、「チャレンジする市役所」プロジェクトを位置づけています。



SDG s の取組

「誰一人取り残さない」持続可能なよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標

グローバル化が進んだ現代においては、様々な課題に対して、市民と行政が一体となり、解決のために団結して取り組んでいく必要があります。

本市においても、誰一人取り残さない持続可能なよりよい社会の実現への取組を様々な主体が共有し、生涯にわたり誰もがあらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができる石岡市を目指すため、SDGsの取組を推進します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



輝く『魅力向上』プロジェクト

本市の強みである歴史や観光などの地域資源を最大限に活用し、市の「魅力」を「向上」させることで、市民一人ひとりが郷土に愛着を持ち、自らその魅力を市内外に広く発信できるまちを目指します。

輝く「魅力向上」
プロジェクト

①

シティプロモーションの強化

拡充

シティプロモーションの推進

【秘書広聴課 わがまち発信室】 2,603千円

◇ブランドメッセージや ロゴマークを活用したプロモーション活動

令和4年度に作成したブランドメッセージやロゴマークを活用し、石岡市の知名度とイメージを向上させ、多くの人々に興味を持ってもらうため、シティプロモーション指針に基づいた効果的かつ戦略的な情報発信を行います。

また、ブランドメッセージをテーマとした動画コンテストを実施し、市民一人ひとりが郷土に愛着を持ち、自ら率先して地域の魅力を市内外に発信する機運の醸成を図ります。



石岡市ブランドメッセージ

あなたの ○○があるまち いしおか

夢をもち好きを大切に 好奇心のままに挑戦しよう

いちごや柿に菜の花 豊富な果物がある
遺跡や祭りに古民家 情緒溢れる歴史がある
サイクリングやトレイルランにスカイスポーツ 心躍る遊びがある

挑戦は多くの出会いを生み 人の和はどこまでも広がり 大人から子供まで笑い声が響くまち
いしおかでの出会いがはきっと夢への架け橋になる 夢はきっとここにある



【本市のブランドメッセージ】

◇情報発信ツールの効果的な活用

本市では、広報紙やTwitter、Facebook、YouTubeなどの既存の情報発信媒体に加え、令和4年度にはLINEやInstagramの運用を開始するとともに、ホームページのリニューアルを行いました。

令和5年度は、これらの媒体を効果的に活用し、それぞれの特性を活かした「伝わる情報発信」を推進します。

また、「石岡の情報まるっとお届けサイト」を有効に活用し、民間企業、市民、団体が行うイベントや求人（会員）募集など、地域に根差した身近な情報や魅力を市民自身が発信できるよう周知・啓発を進めます。



【石岡の情報まるっとお届けサイト】

【該当政策目標】

政策目標 1：情報発信
政策目標 2：歴史・観光

【該当SDGs】



輝く「魅力向上」プロジェクト

②

魅力の活用・創出

新規

ハーフマラソンの開催

【スポーツ振興課】

15,850千円

新規

観光連携応援事業

【産業プロモーション課】

5,000千円

令和4年度まで実施していた「石岡つくばねマラソン（最長10km）」を「ハーフマラソン」に移行します。市内外から多くの人を訪れることで交流人口の増加や、本市の活性化を目指します。



【市内マラソン大会（つくばねマラソン）の様子】

茨城DC※に合わせ、市内観光事業者の連携と新しい観光コンテンツ造成を支援することを目的として、市内の複数の事業者や団体が連携する事業に活用できる補助金を創設し、観光客の誘客や関係人口の増加を図ります。

※茨城DC：茨城デスティネーションキャンペーン。JRグループと地域が一体となって行う国内最大規模の観光キャンペーン。



【茨城DCに合わせたJR石岡駅装飾】

新規

いばらきフラワーパーク
駐車場整備事業

【商工観光課】

74,892千円

拡充

市内イベントの充実

【商工観光課】

17,562千円

いばらきフラワーパークでは、季節を感じるアクティビティや四季折々の花々、イルミネーションやバラ祭りなどの充実により観光客の増加を目指しています。

新たに隣接する駐車場整備を実施することで、渋滞緩和対策を行うとともに、いばらきフラワーパーク周辺などを含む本市の魅力が伝わる観光拠点づくりに努めます。

年間を通して本市の魅力を市内外に発信するため、市内で同時期に開催されているイベント（石岡ふれあいまつり、商工祭、柿岡城まつり）を再編し、春と秋に季節ごとのテーマを持たせたイベントを開催します。

また、ステーションパークで定期的に開催している「いしおか市場」の開催後援により、魅力の発信や駅周辺の活性化を目指します。



【いばらきフラワーパーク
イルミネーション】



【花やさと山と
満開のソメイヨシノ】



【石岡ふれあいまつり】



【いしおか市場】

その他の輝く「魅力向上」プロジェクト 注目事業

- 【継続】 通勤通学者の特急券・定期券購入支援 19,097千円
- 【継続】 地域おこし協力隊活動支援 28,400千円
- 【継続】 文化財保存活用地域計画作成事業 3,629千円
- 【継続】 無形民俗文化財映像記録作成事業 3,916千円
- 【拡充】 移住支援 9,400千円

輝く『まち』プロジェクト

市民が日々生活する基盤である「まち」をよりよいものとしていくため、災害や犯罪などの社会的な不安要素に対して、自助・共助・近助・公助により安全・安心の確保を目指すとともに、都市部・田園空間それぞれの特性を活かした、都市基盤の整備・生活環境の向上を目指します。

輝く「まち」
プロジェクト

①

地域の特性を活かした都市基盤の整備

継続

石岡駅周辺整備事業－第2期－ 石岡駅東口都市公園整備ほか

【駅周辺にぎわい創生課】 263,137千円

5箇年計画の3年目として、駅の東側においては、石岡駅バスロータリーに隣接している未利用地を都市公園として整備し、スケートボードパーク機能と併せて通常の公園としての機能を備え、子育て支援や憩いの場を利用者へ提供します。

また、災害時には一時避難所としても活用できるように、防災用テントの機能を持つ東屋、かまどベンチ等を設置し、防災機能を充実させます。

駅の西側においては、バスターミナルの集約化により空きスペースとなったステーションパーク1階の有効活用に向けた取組を推進します。



【石岡ステーションパーク】

拡充

合併市町村幹線道路 緊急整備支援事業

【都市計画課】
177,131千円

合併幹線道路である貝地・高浜線、駅前・東ノ辻線、村上・六軒線の整備および上曽トンネル供用に向けて、上林・上曽線の整備をすることで、地域間道路交通のネットワーク強化を図ります。



【貝地・高浜線 工事の様子】

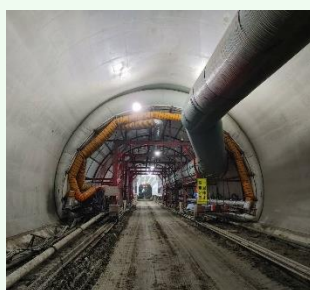
継続

上曽トンネル 整備事業

【道路建設課】

1,318,596千円

地域住民の生活・交流に加え、地元産業や物流・観光を支える重要な路線として、上曽峠のトンネル整備を進め、県南地区と県西地区間のネットワーク強化による広域的な地域活性化を目指します。



【トンネル本体工事】



【トンネル上空】

【該当政策目標】

政策目標 3：安全・安心

政策目標 4：都市基盤・環境

【該当SDGs】



輝く「まち」プロジェクト

②

地域の特性を活かした生活環境の向上

新規

ゼロカーボンシティに向けた取組

【生活環境課】 13,115千円

将来の世代も安心して暮らせる持続可能な社会の実現に向けて、令和4年10月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行ったことを踏まえ、以下の取組を推進していきます。

【主な取組】

- ・地球温暖化対策実行計画等策定
- ・家庭用蓄電池設備導入促進補助金
- ・霞台厚生施設組合のごみ焼却熱発電からの電力購入
- ・施設のエネルギー消費削減 等



【広域ごみ処理施設 クリーンセンターみらい】

新規

高浜駅周辺整備方針の検討

【都市計画課】

5,700千円

高浜駅周辺を、良好な居住空間を有する地域拠点とするため、高浜駅を中心としたエリアを対象として、今後のまちづくりを進めます。

令和5年度は、駅のバリアフリー化や駅前広場の整備に向けた検討を行います。



【JR高浜駅】

拡充

空家対策事業

【生活環境課】
【建築住宅指導課】

1,691千円

石岡市空家等対策計画（令和4年度改訂）に基づき、市民の生命・財産の保護、生活環境の保全のため、空家等の適切な管理を行うとともに利活用を推進します。

また、空家に関する窓口の拡充を図り、市民の利便性の向上を目指します。



【空家等の地域資源活用例：茅葺民家】

その他の輝く「まち」プロジェクト 注目事業

【継続】 買い物支援実証事業 2,000千円 【継続】 景観形成事業 17,258千円

【継続】 霞台厚生施設組合負担金 263,142千円

(地域還元施設運営費、クリーンセンターみらい運営費等を含む)

輝く『ひと』プロジェクト

市民一人ひとりの生涯に焦点をあて、市民の健康増進、医療の充実、福祉の向上を目指すとともに、結婚、出産、子育て、教育・学びといった生涯のあらゆるライフステージでいきいきと生活を送れるまちを目指します。

輝く「ひと」
プロジェクト

①

保健・医療対策の充実

新規

産科医療施設 開設支援基金

【健康増進課
地域医療対策室】
100,000千円

市内には、分娩を行う施設がなく、出産の際には市外の産科医療施設まで行かなければなりません。

本市では、誰もが安心して暮らせるまちを目指し、分娩を行う産科医療施設を開設するための支援を行うことを目的に、新たに産科医療施設開設支援基金を設置し、基金を活用した産科医療施設の誘致に取り組みます。

継続

地域医療対策事業

【健康増進課
地域医療対策室】
5,496千円

令和5年度は、こども休日診療を継続して実施するほか、石岡地域出身の医師等による市内の小中学生への出前授業を行います。



【石岡地域出身医師の出前授業の様子】

新規

带状疱疹ワクチン接種 助成事業

【健康増進課】
2,000千円

带状疱疹は、子どものころにかかった水ぼうそうのウイルスが原因で、疲労、ストレスなどで免疫力が低下すると、ウイルスが再び活性化して発症します。50歳以上で带状疱疹を発症した人のうち、約2割の人が带状疱疹後、神経痛になると言われています。

本市では、予防のためのワクチン接種費用の一部を助成することで、市民の不安や負担の軽減に努め、健康増進を図ります。



新規

高齢者の保健事業と 介護予防の一体的実施

【保険年金課】
【健康増進課】
【高齢福祉課】
9,147千円

包括的な疾病管理がより重要となっている中、健康・医療情報などを活用し、地域の疾病構造や健康課題を踏まえ、高齢者に対する個別支援や介護保険における通いの場などへの積極的な関与を行います。

これにより、フレイル予防※の普及啓発や、運動機能等の健康教育・健康相談を実施します。

※フレイル：加齢に伴う虚弱な状態。一方で適切な支援などにより生活機能の維持向上が可能な状態であることから予防対策が重要となります。



【該当政策目標】

政策目標 5：健康・福祉

政策目標 6：子育て・教育・学び

【該当SDGs】



輝く「ひと」プロジェクト



出産・子育て環境の充実

新規

いしおか出産子育てサポート事業

【健康増進課】

62,509千円

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期からきめ細やかな相談に応じる「伴走型相談支援」の充実、

妊娠・出産に係る費用の負担軽減を図るため「出産・子育て応援給付金」を一体的に実施します。



新規

不妊・不育症治療費助成事業

【健康増進課】

4,500千円

不妊治療や不育症に対する経済的な支援により、前向きに治療に取り組むことができるきっかけづくりを行うことで、妊娠を希望する方へのサポート体制の充実を図ります。



拡充

通学支援の充実

【政策企画課】
【教育総務課】

10,469千円

大学や専門学校に電車通学する方を対象に通学定期券や特急券購入に係る費用の一部を助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

また、小中学生のスクールバスについては、保護者の負担軽減に向けた検討を進めます。



【JR常磐線】

拡充

地域の特色を活かした教育の充実

【教育総務課】

3,555千円

本市独自の創意ある学校教育の推進により、未来を担う子どもたちが輝けるよう、教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策を推進するため、石岡市教育大綱及び教育推進計画を改定します。また、地域の特色を活かした「ふるさと学習」により、郷土に対する愛情や誇りを育む取組を推進します。



【ふるさと学習の様子】

その他の輝く「ひと」プロジェクト 注目事業

【継続】 子育て世代包括支援センター事業 21,569千円

【継続】 子ども家庭総合支援拠点事業（児童虐待、ヤングケアラー対策等） 5,625千円

【継続】 新入学祝記念品（ランドセル）配布事業 10,419千円

【継続】 すくすく赤ちゃんクーポン事業 12,165千円

【継続】 生涯現役プラチナ応援事業 6,740千円

輝く『暮らし』プロジェクト

市民が日々生活する地域の「暮らし」を充実するため、地域内で自立し、持続可能な産業振興を進めます。また、市民がいきいきと地域で暮らし続けることができるよう、市民や事業者などが行政と一体となって共にまちづくりを進めることで、多様性を尊重した共生社会の構築を目指します。

輝く「暮らし」プロジェクト

①

持続可能な産業振興

新規

企業誘致の推進

【産業プロモーション課】
【商工観光課】

23,638千円

工業用地の確保に向けて、必要な開発可能性調査を進めるとともに、未利用地の活用検討、民間企業のマッチング、新規・既存企業支援などを推進します。



【柏原工業団地の上空からの写真】

拡充

産業プロモーション
の推進

【産業プロモーション課】

36,025千円

石岡セレクト認証品をはじめとする優れた特産品や農産物、観光資源をPRすることで、本市の知名度向上やインバウンドを含む誘客の促進を図り、産業の活性化を推進します。



【台湾でのPR活動】

拡充

事業者等への支援

【商工観光課】

11,175千円

市内空き店舗等への新規創業を目指す方を応援する「創業支援事業費補助金」の補助要件を拡充し、店舗改修等に係る費用の一部を助成します。

また、住環境の整備、店舗の魅力や機能性の向上を支援する「住宅・店舗等リフォーム支援事業」により、持続的発展と地域経済の活性化を図ります。



【中心市街地】

継続

新規就農者への支援

【農政課】

52,123千円

朝日里山ファームにおいて、新たに農業を営もうとする方に、農業経営に必要な技術や知識を習得する環境を提供し、有機農業などの地域農業を支える担い手育成や活性化を図ります。

また、石岡市新規就農者支援センターでは、就農相談から就農後の定着・経営発展まで支援を行い、次世代を担う方の経営確立支援を推進します。



【朝日里山ファームでの新規就農支援】

【該当政策目標】

政策目標 7：産業・経済

政策目標 8：地域・文化

【該当SDGs】



輝く「暮らし」プロジェクト

②

一人ひとりが活躍できる地域社会の構築

新規

複合文化施設

整備基金

【駅周辺にぎわい創生課
複合文化施設整備推進室】

100,000千円

継続

複合文化施設

整備事業

【駅周辺にぎわい創生課
複合文化施設整備推進室】

1,913千円

着実に施設整備を進めることを目的に、新たに複合文化施設整備基金を設置し、整備に係る事業費の計画的な確保に取り組みます。



(イメージ写真) 【発表会や鑑賞会の様子】

公共施設機能の複合化・集約化の検討を図りながら、市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができるような新しい文化施設の整備に向けた取組を進めています。

令和5年度は、議論する場を設け、学識経験者や市民等と議論しながら、基本計画の策定に取り組みます。



(イメージ写真) 【発表会や鑑賞会の様子】

新規

共生社会の構築に向けた取組

【社会福祉課 人権推進室】 4,541千円

社会的マイノリティをはじめ多様化する人権問題、犯罪や非行をした人たちの更生・保護、女性を取り巻く様々な問題などに対し、差別や偏見を無くしていくための啓発、問題解決に向けた支援など、人権が尊重された共生社会の確立に向けた取組を進めます。

誰もが暮らしやすく、人権を尊重し、一人ひとりが活躍できるよう、お互いの理解を深め、すべての人が共生できる社会の構築を目指します。



【社会を明るくする運動】

その他の 輝く「暮らし」プロジェクト 注目事業

【継続】鳥獣被害対策事業 25,984千円

【継続】石岡セレクト認証事業 681千円

【継続】農産物6次化・ブランド化事業 3,600千円

【継続】協働によるまちづくり推進事業 15,005千円

チャレンジする市役所 プロジェクト

－ 行財政改革大綱 －



行財政改革とは

地方自治体の最大の目的である「住民の福祉の増進」に向けて、安定的・持続的な行政サービスを提供していくための取組です。

【石岡市における行財政改革】

- 最少の経費で最大の効果を上げる
- 組織および運営の合理化に努める
- 市民と行政との協働の推進や事業の再評価・重点化
- 行政の担うべき分野や行政資産の配分の見直し
- AIなどの技術革新がもたらす社会変革への対応
- 働き方改革



チャレンジする市役所への取組

総合計画において、すべての分野を下支えするものとして「チャレンジする市役所」を位置づけています。

【チャレンジする市役所に向けた取組】

- 常に改善、改革に取り組むチャレンジ精神
- やりがいが得られる組織風土の構築
- 挑戦できる人材の育成
- 限りある財源の効果的・効率的な活用
- 総合計画・行政資産・実施事業の連動
- 社会情勢の変化にも即応できる体制づくり



チャレンジする市役所の2大テーマ

チャレンジする市役所の推進力を高めるためには、サービスの選択と集中を行える「組織および人材」と「財政」が軸になります。以下の2つのテーマについて、各施策を横断して、重点的・戦略的に取り組みます。

組織・人材マネジメントの充実

主な取組 | 組織づくり、人材の確保・育成による温かみのあるサービスの提供に向けた取組

- 組織機構の最適化
- 人材の確保・定員管理
- コンプライアンスの徹底
- 働き方改革の実践
- 民間活力の積極的な活用

経営・財務マネジメントの充実

主な取組 | 行政資産（ヒト・モノ・カネ）を有効に活用し、様々な行政サービスへの需要に応えるための取組

- 財政推計との連動を高める事業査定
- 市民に対する財政推計の積極的な情報公開
- ファシリティマネジメントの推進
- ふるさと応援寄附金や有利な地方債、
国県補助金等の活用による歳入確保

※ファシリティマネジメント：組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画・管理・活用して最適化を図る経営活動



【市職員による職員提案制度の発表の様子】



【ドローンパイロットチームによる活動】

【該当政策目標】

政策目標9：チャレンジする市役所

【該当SDGs】



「チャレンジする市役所」プロジェクト

マネジメント体制の強化

新規

マネジメントシステムの運用

【政策企画課】
【総務課】
【財政課】

拡充

働き方改革の推進

【総務課】
【教育総務課】
27,254千円

総合計画の実効性を高めるため、組織・人材および経営・財務マネジメントの連携を強化することで、PDCAサイクルを着実に実行し、市民にわかりやすい組織の構築、効果的な人員配置、効率的な予算の執行などに取り組みます。



長時間労働の是正や柔軟な働き方がしやすい環境の整備により、市職員や教職員などのワークライフバランスを推進します。

取組の例として、電子決裁システムや校務支援システムの運用、小中学校への多機能型複写機の導入、部活動指導員（外部指導者）の活用などにより、負担軽減や事務の効率化を図ります。



【ICTを活用した市職員による出前講座】

拡充

ふるさと応援 寄附金事業

【管財課】
122,357千円

地域活性化の手段の一つとして「ふるさと応援寄附金事業（ふるさと納税）」により、地場産品などの魅力発信や自主財源確保を推進しています。

より効果的効率的な事業実施のため、その場でふるさと納税ができるアプリを拡充します。



茨城県石岡市
ふるさと応援寄附



【ふるさと応援寄附カタログ】

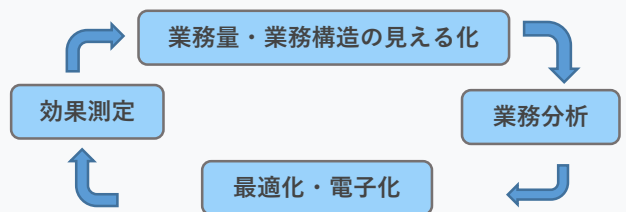
継続

デジタル化の推進 全庁業務分析の実施

【情報政策課】
13,000千円

限りある財源で持続可能な行政運営や行政手続きなどの効率化を図るため、デジタル化を中心とした業務の変革を実施するにあたり、BPRの手法を導入し、業務分析を実施します。

※BPR：ビジネスプロセス・リエンジニアリング。業務内容やフローを根本的に見直し、再構築を図ること。



業務を可視化・分析し、検討した最適化・電子化案を実践し、効果測定までの一連のサイクルを回し続けることで、業務改善や市民サービス向上の実現を目指します。



【令和5年度】
石岡市総合計画
第1期基本計画に基づくリーディングプロジェクト

発行 石岡市 市長公室政策企画課
〒315-8640 茨城県石岡市石岡一丁目1番地1
TEL：0299-23-7277
FAX：0299-22-5276
E-mail：kikaku@city.ishioka.lg.jp

